●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）	
①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	児童生徒数の減少に伴い、教職員数が減少しているため、校内の環境整備や登下校指導に充てる人材が確保できず、教職員の負担となっている。	学校応援団の活動で、「安心・安全への支援」や「学校の環境整備への支援」に重点を置き、活動実日数を増やすことで、教職員の負担軽減を図る。	小学校においては、前年度に比べ、活動日数が16日増加したが、中学校においては減少している。学校応援団やコミュニティースクール活性化のための効果的な事例を学ぶ研修会を実施し、活動内容の充実を図った。併せて、学校だよりやHP等で学校応援団の周知や募集を行った。	地域人材を活用した環境整備が定期的に行われることにより、校内環境が整う。登下校の見守り体制が充実し、子供たちの安全が確保される。	学校応援団の活動実日数	1262	その他	1300	1402	03 本	昨年度の1262回に比し、活動日数が1.1倍に増加した。中学校での登下校の見守り支援が開始されたことで活動日数が増加している。人材確保については課題が残るため、引き続き広報誌を活用して呼びかけるとともに、学校運営協議会と連携を図りながら、学校や児童生徒のニーズに応じた学校応援団活動を充実させていく。